

令和7年度第1回 横浜市外郭団体等経営向上委員会 会議録	
日 時	令和7年9月2日（火）[14:00～15:05]
開催場所	横浜市庁舎18階 共用会議室 なみき19
出席者	寺本委員長、太田委員、橋本委員、福田委員、三坂委員
欠席者	なし
開催形態	公開（傍聴者なし）
議 題	<p>[議題1] 諮問</p> <p>[議題2] 報告団体の進捗について</p> <p>[議題3] 令和7年度視察について</p> <p>株式会社横浜国際平和会議場</p>
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長不在時の職務代理者について、福田委員を指名し決定した。 ・今年度の報告団体における協約の進捗状況について概要を説明し、追加で審議が必要と考えられる団体について意見交換をした結果、今年度の審議団体に「公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団」を追加した計6団体を審議することとした。 ・令和7年度団体視察について、「株式会社横浜国際平和会議場」を視察先候補とすることとした。
議 事	<p>開 会</p> <p>[職務代理者の指名]</p> <p>（寺本委員長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日は、委員構成が変更となってから、初めての委員会となる。 <p>今後の委員長不在の場合の職務代理者については、福田委員にお願いしたいと思うが、よろしいか。</p> <p>→全委員同意</p>
	<p>[議題1] 諮問</p> <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諮問文のとおり
	<p>[議題2] 報告団体の進捗について</p> <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の報告団体における協約の進捗状況について概要を説明 <p>1 意見交換</p> <p>（寺本委員長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の皆様から、報告団体における現協約の進捗状況などについて、質問・意見等はあるか。 <p>2 委員からの意見・確認事項（公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団）</p> <p>（三坂委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「法人の経営状況を説明する書類」に管理施設の常設展及び企画展の入館者数の記載がある。一方、「自己評価シート（1）公益的使命の達成に向けた取組②」では、学校来館校数の記載があるが、「法人の経営状況を説明する書類」にある入館者数には、学校関連の来館者数は含まれるのかどうか。 <p>（事務局）</p>

- ・確認事項とする。

(寺本委員長)

- ・「自己評価シート（１）公益的使命の達成に向けた取組①」の施設利用者数は 83 万人とあるがすべて含まれているのか。

(事務局)

- ・確認事項とする。

(寺本委員長)

- ・視察をして内容も確認してみたい。施設利用者数について何を基準に目標として測っているのか。目標にはデジタルコンテンツも含まれている。整理しないとわかりにくい部分がある。

(福田委員)

- ・昨年の答申から、過去のあり方検討の進捗状況について、見えてこなかったことを問題意識として、共有化した部分があると思う。指定管理施設の各施設間のシナジー効果について、答申では触れていたのか。施設ごとのいろいろな取組ではなく、指定管理施設をあわせたシナジー効果や年間を通じた共通の事業のほか、回遊性やブランディングなどの内容を求めていたのか。求めていたのであれば、進捗状況はどうか。答申の内容と現在の状況が、自己評価シートの情報だけではよくわからなかった。数字以外にも、改善するために必要な取組が見えるよう流れを追う必要があるのではないか。

(事務局)

- ・昨年の答申内容は、まず「訪問授業や学校教育、横浜の歴史文化等に対して取り組んでいることについて、一定の評価」をいただいている。一方で「団体が所有している魅力的なコンテンツをもっと活用して、有料入場者数や自主財源の更なる増加等に取り組むことで市への財政貢献や、財務の安定化に努めてもらいたい。」というご意見をいただいた。

また、施設の統合については、昨年の審議の中でも平成 24 年の「横浜市文化財施設のあり方検討委員会」の提言を受けて、「4 施設（横浜市歴史博物館、横浜開港資料館、横浜ユーラシア文化館、横浜都市発展記念館）のあり方の検討をするべきとされ、10 年以上経過しているが、具体的な検討が進んでいないことから、課題解決のための具体的なスケジュールと再編も含めた取組を早急に明確化して、所管局と団体が連携して進めることが求められる。」という答申を受けた。

- ・委員会に向けて改めて答申を受けた後の取組状況について所管局に確認した。まず来年度から始まる 10 年間の指定管理について、次期指定管理者の選定の最中であること。それから答申の中で触れていた施設のあり方については、これまでの提言、関係者の意見を踏まえて、指定管理期間中においても段階的な見直しを行うことを視野に入れながら検討を進めていく予定。指定管理開始後の初期段階に運営状況や利用実態、寄贈等の状況の関係性等を総合的に検証して、必要に応じて施設の機能や役割について再整理を図ることを検討していく予定とのこと。最後は、再整理の際は文化財行政の意義を損なうことのないよう専門的な知見を踏まえつつ、横浜都市発展記念館と横浜ユーラシア文化館の設立趣旨や、これまでの経緯を十分に考慮して、慎重かつ丁寧な対応を図りながら進めていくという回答があった。答申を受けてから具体的に検討

	<p>された内容については、今のところ報告を受けていない。</p> <p>(橋本委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経常収益で約6億円の差が生じている。内容を伺いたい。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査事業で予算3億円が、決算で9億円となっているので、その影響が大きいと思うが、確認事項とする。 <p>(寺本委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各委員からも様々な意見があったことから、「公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団」について、追加審議団体とすることによろしいか。 <p>→全委員同意</p>
	<p>[議題3]令和7年度視察について（株式会社横浜国際平和会議場）</p> <p>(寺本委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の団体視察について、事務局より説明をお願いします。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度に審議を行う団体のうち、過去の視察状況や受け入れ先の状況等を踏まえ、「株式会社横浜国際平和会議場」をご提案したい。 <p>当該施設は国内最大級の複合MICE施設として、劇場式ホール、会議室、展示場、ホテルと、MICE開催に必要とされる全ての機能が備わるように設計されており、本市におけるランドマーク的な存在となっている。</p> <p>一方で、施設・設備の老朽化対策や、競合他施設との競争力強化に向けて、計画的な大規模改修等にも対応する必要がある、審議の前に当該施設の視察を実施することで、委員会での議論に向けた理解につながると考える。</p> <p>(寺本委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは「株式会社横浜国際平和会議場」を視察地として選定することにしたいと思うがよろしいか。 <p>→全委員同意</p>
資 料	<p>資料1：諮問</p> <p>資料2：自己評価シート</p>